もりの手紙
mo ri no te ga mi

7 Jul

NO 348 /2026

森にいこうよ！
もりメイト倶楽部 Hiroshima

発行・編集
理事長　山本恵由美
広島市中区白島中町 12-4
TEL　090-6419-7531
e-mail　info@morimate-ch.com
URL https://www.morimate-ch.com

声かけあって
事故を起こさない！
起こさせない！
目指そう
安全・安心・楽しい
森づくり活動を！！

contents

★7 月例会案内：7 月 26 日(日)
湯来狐原山景観整備・・・・・2
★例会報告：狩留家自然の森公園・・3
★各部会報告他
・里山部会：剪定、コキア植樹他
・クラフト部会：イベント準備他
・環研：蛍観察会のおしらせ・・・・4
★第 1 回もりメイトキッズ開催・・・5
★森づくり啓発シリーズ「森の学校」
間伐体験・木エクラフト・・・6 & 7
★ 7 月活動予定他・・・・・・・・・8

「はなのわマルシェ」あふれる笑顔で welcome。クラフト部会のスタッフ。(P7にて)

私たちも 森づくりを応援しています。

◆株式会社ニシナ屋珈琲　◆ゆめみらい株式会社
◆イオンリテール株式会社 イオンスタイル広島府中
（イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン）
◆(有)ジェイ・アセット・マネジメント
◆公益信託　富士フィルム・グリーンファンド
《 ご支援を誠にありがとうございます。順不同・敬称略 》

もりメイト倶楽部 Hiroshima　森は私たちの宝もの。未来へ残したい、伝えたい

＝もりメイト倶楽部 Hiroshima＝

1997 年から活動している団体です。
広島市周辺の里山等の整備や勉強会のほか、会員の得意分野ごとに多彩な部会を設け、幅広い活動を展開しています。
ぜひ一緒に、美しい森を未来に残し伝えるボランティア活動に参加してみませんか。
私たちはあなたの力を待っています！
広島市民賞、ひろしま県民活動県知事賞、広島ユネスコ活動奨励賞、全国林業普及協会会長賞など受賞歴多数。

【 会員＆ご寄付の募集 】

私たちの活動に共感、賛同して一緒に活動していただける方、またはご寄付を募集しています。
【個人会費】： 3,000 円
【企業会費】：50,000 円

【広島銀行 白島支店】（普）３２８３３８３
【ゆうちょ銀行】１５１７０－１８０２９２９１
《口座名：トクヒ）モリメイトクラブヒロシマ》

～下記まで電話、又はメールでお問い合わせ下さい～
【電話】090-6419-7531
【Email】info@morimate-ch.com

案内

7月地域貢献プロジェクト例会【担当３班】

「狐原山（きつねばらやま）」草刈り＆景観整備

湯来ふるさとプロジェクトとの協働で、散策道と周辺の草刈り、さらに見晴らしを良くするために、不要木の伐採を行います。是非ご参加ください。

◆日　　時：　7月26日（日）８時 30 分～昼まで

担当班、リーダーは８時集合。　<u>作業は午前中で終了予定です。</u>

◆会　　場：【狐原山】佐伯区湯来町白砂（ゆきちょうしらさご）

※　湯来体育館〈湯来町大字白砂 1215 番地の 1〉の向い

◆持参物：　山の道具(道具の貸し出し有り)・名札・呼子（笛）

※　地元のご厚意により軽食が用意されます。
　　草刈り機(所有の方)、スコップ、鎌等ありましたらご持参を。

◆申込み　：<u>7月１５日（水）までに各班長へ連絡。</u>

※ 賛助会員その他参加希望の方は 事務局へ電話かメールでご連絡下さい。

090-6419-7531　：info@morimate-ch.com

<u>※ もりメイト倶楽部会員外の方は、例会参加費 500 円受付にてお渡し下さい。</u>

きつねばらやま

2005 年、湯来町が広島市に合併された記念として、狐原山に広島市民の手によって桜が植樹されました。当時、ここに関わり、地域の活性化で活躍されていた松波氏とのご縁で植林後の草刈りの要請を受け、"湯来ふるさとプロジェクト"との協働で毎年整備を続けています。

今年もまた、春にはお花見イベントを開催。我がクラフト部会も参加し、たくさんの近隣の市民が集いました。狐原山が桜色に染まり、たくさんの市民が楽しむ憩いの「桜の森」目指しています。今年もたくさんの方の参加をお待ちしています。気持ちの良い汗を流しましょう。

写真は昨年 7 月の例会から。集合写真の後ろ、周りを手入れした枝垂れ桜が今年の春見事に花を咲かせました！

～8 月例会は、第 4 日曜に楽しいスキルアップ研修会を予定しています。詳細は次号にて～。

報告

地域貢献プロジェクト　5月24日
「狩留家自然の森公園」構想に協働しよう

5月例会　～金毘羅神社周辺の眺望改善と参道整備～参加者：36名

作業を終え金毘羅神社前に集合。おつかれさまでした～！

✿梅雨の走りの最中、前日の予報では天気が危ぶまれましたが薄曇りに変わり作業日和に！ 朝のミーティングにて作業目的や内容を確認しラジオ体操の後、現場へ移動。
A.B.C.D 班毎に手順の打合せをして早速作業を開始しました。✿✿

■今回は２回目の取り組みで、前回に出来なかった場所や要望された場所の眺望や景観整備、参道の修復に取り組んだ。作業中、郷土史家.NPO 狩留家副理事の貞廣氏談によると「金毘羅大権現(神社)は江戸時代中期舟運が栄え、年貢米、燈油、薪などを広島に運んだ舟の航行の安全を祈願するため、航海の神様「金毘羅神」を三篠川が見渡せる山の上に勧請した(一部郷土史狩留家より抜粋)」とのこと。また、アセビの花が咲く頃には、お弁当を持って花を楽しんでいたとのお話もお聞きした。

■そのような場所での作業で、アセビやツバキなど大切にされている木は、伸びた枝葉を剪定し、透かすように切り揃えた。眺望を遮る杉の高木や桜の成長を妨げる樹木や枯竹は伐採し、棚積も景観を意識して目立たなくした。

■参道は、前回の場所から手前に段差があり、より緩やかな階段を希望された所は枕木を増やすなど工夫し登りやすく改修。併せ、急遽要望された入口付近の道幅の狭い所には、伐採した杉、樫の木を横木に利用して拡幅補修し完成させた。伐採した杉材は玉切り皮むきし椅子に加工し、５脚を神社へ奉納、残る材も 2.5m２本を神社横に再利用できるよう保存した。

■終了時には、神社前に集合し安全に終えた事を祈念し「二礼二拍手一礼」で参拝し下山。終礼では、各班ともに、計画通りに作業が終えられ、ケガもないとの報告で安堵。初めて参加された、黒川理事長のお孫さんからも『初めてでしたが楽しく新たな経験ができました。』新会員の大家さんは『伐倒した材を枕木や杭として再利用されている事など、得ることが多々ありました』との声が!!聞かれた。

■最後に、NPO 法人黒川理事長から労いのお言葉を頂き、また、昼食時に地元の食材を使った、汁物をご厚志くださった事にお礼を申し上げて閉会とした。ありがとうございました。

４班 班長　冨田 実

参道は歩きやすいよう、より緩やかに。　参道横の竹林はきれいに片付け清々しく！　皆で力を出し合いました。

報告

■2026年6月7日（日）：　参加者　9名　　　　　　　　里山部会長　佐藤謙治

■前日までの天気予報では曇り予報が夕方になると朝から0.5mm～1mm・2mm/h 予報。何名かの開催問い合わせあるも、6月は梅雨の季節！「雨の中の作業も**非日常**として楽しかり」と雨天決行。主な作業は妙國寺境内の椿の剪定と、コキヤ（箒草）苗の植え付け。椿は8齢級程で花実の付きも少なくなり、倶楽部所属の剪定に詳しい方のアドバイスを受けながらの強剪定を行う。来年は無理だが何年か後の真っ赤な花付きと境内の景観を想定。併せて隣接する花畑にコキヤ10本ほど植苗（昨年はシカの食害。鹿よけネットの修復を行う）作業は約3時間（写真参照）お昼近く2mm/h ほどの本降りに！さすがに安全面と楽しさも消え作業終了。棚積みが雑に残ったが次回の整備に。

坊守さんより暖かいお汁の差し入れの昼食後、トイレの入り口に燕の巣（ひな4羽）蛇が昇れないよう防護シート設置し解散とした。今後も部会の活動は里山の保全と維持、地域連携。・・雨にも風にも負けず「森を理解し・森を大切に・森を楽しむ」活動をしていきます。

剪定前(before)

剪定後(after)

燕の雛

■6月活動報告　　　　　　　　クラフト部会長　岩田 幸信

報告

見勢井顧問を交えてのゆるりとした貴重なひと時。

部会の開催当日は、中国地方に梅雨入り発表されるも、梅雨らしい天気は何処へ。

鹿ケ谷ベース基地も対岸のダム工事の影響で道路が狭まる状況になっています。

４月５月と､「はなのわマルシェ」の準備作業で、てんてこ舞いのクラフト部会、6月は14日のみの作業となりました。この日は、はなのわマルシェで使った材料の点検、「ゆうゆう」「学校間交流・太田川流域振興交流会議学校自然体験事業」の準備をしました。途中、見勢井顧問から飲み物・お菓子の差し入れをいただきながら「部会の方針」等、示唆をいただき話し合いがもたれ、有意義な時間を過ごすことができました。６名参加。

■松ヶ原へ「オオマドホタル」を見に行こう！　　　　環研部会長　佐々木 綾子

7月19日（日）にキッズフィールドのある大竹市松ケ原にてオオマドホタルの観察会を行います。集合時間は16時、集合場所は松ケ原の母屋。21 時解散予定。小雨決行。警報が出たら中止。当日はフィールドの危険個所などの点検確認を行い、日暮れまでの時間を過ごしたいと思います。これからもりメイトキッズを担いたい方、どんなことしているのか体験してみたい方、いい機会ですのでぜひご参加下さい。**オオマドホタル：林縁部などで見られる陸生の蛍。胸に赤班がある。メスの成虫は翅（はね）が退化しており飛べない。幼虫はよく光り、カタツムリなどの陸生貝類を食べる。**

報告

第１回もりメイトキッズを開催しました。

★開催日：5月31日（日曜日）　参加人数36名　　スタッフ18名
★テーマ：みんな生きている・みんなで森と未来をまもろう

しずく役の坂田さん(左)と雲役の平田さん

樹木クイズ

すがすがしい天気の中、今年度初の「もりメイトキッズ」を開催いたしました。今年度は水を主なテーマにしていますが、森と水の関係を分かりやすく説明するため劇を行い、坂田さんの「しずくちゃん」、雲の平田さん、解説をする吉村さんで渾身の演技で水の循環を促すために森を整備し環境を整えることが大切だということを伝えました。また、参加者に自然を親しんでもらうために、スタッフが考えた樹木に関するクイズを出題しながらキッズフィールドを探索しました。青々とした新緑のイロハモミジを観察したり、スノキの葉っぱを噛んで味見をするなど、植物の特性を知ることで驚きや発見、楽しさを感じ、よりいっそう自然に興味や関心をもってもらえたらと、思っています。

フィールド内の植物に触れるキッズ

葉を観察するキッズ

スタッフから説明を受けるキッズ

未就学児の子供たちは会報誌で「ひと枝」を描き続けた原田澄さんに植物の説明を受けながらフィールドを探索した後、昼食の炊きこみご飯の型押しにチャレンジ。青々した大きな大きなカシワの葉の上に、間伐材で作った木枠に炊き込みご飯をぎゅーっと詰めて上から押し出し、四角い形に整えました。

原田さんから説明を受けるキッズと保護者

炊き込みご飯の木枠押し体験を行うキッズ

午後からは、初挑戦の水辺の雑木の整備を行いました。整備前は小川の姿もうっすらしか見えていなかったのですが、みんなで手分けして岸辺や水辺の雑木を伐ったおかげで、見る見るうちに小川の姿がはっきり表れ、「カニがいる」「きれいな石みつけた」「橋をかけたい」など今まで見えてなかったものが見えて、楽しい歓声が聞こえました。次回はきれいになった小川でクラフトなどのワークショップが出来たらいいな、と、思っています。

↓下の写真は、いずれも午後からのプログラム、水辺での活動の様子です。　　**環研部会長　佐々木 綾子**

子供たちと触れ合うことに興味があり参加しました。今まで携わった皆さんが整備して拓けたキッズフィールドを見て、感動しました。これからも子供たちと一緒に整備していきたいと思います。　　【河村　吉則】

もりメイト倶楽部 Hiroshima 発【 森づくり啓発シリーズ 】
～こんな事にも関わっています～

太田川流域振興交流会議学校自然体験事業
「森の学校　森のふしぎを学び楽しもう！私たちにできる SDGs！」

5 月 26 日、広島市森林公園にて、美鈴が丘小学校４年生 74 名の生徒と先生３名が自然体験活動を行い、当倶楽部から 16 名が指導員として参加し、共に学び合いました。

オリエンテーションでは『森と川のつながりや森と人との関わり』『森林整備の重要性』を山本理事長が判りやすく説明、また、見勢井顧問が、活動する時の注意事項を伝えました。その後、ノコとヘルメットを身に付け 11 班に分かれて、ヒノキやスギの人工林へ向かい間伐作業を指導し、森の整備を行いました。午後からは間伐材を利用してクラフト体験。みんなで「箱庭づくり」に挑戦しました。

プログラムの中でも、ノコを使っての間伐や、クラフトで使うヒノキの輪切りでは、苦戦する姿も見られましたが、最後までやりきる姿勢がとても頼もしく感じられました。なお、今回の活動に於いては指導者育成としての学習も兼ねており、実際に指導に当たった４名の方々から感想をお寄せいただきました。

広島市森林公園林業体験広場にてオリエンテーション

記　副理事長　冨田 実

指導中の河村さん

«指導員初体験 感動の一日でした。»　河村吉則(２班)

今回初めての参加でしたが、生徒たちの変化に深く感動した一日でした。林業体験では冨田副理事長の優しい言葉遣いの説明に感心しながら、不慣れなノコギリに悪戦苦闘。息を合わせてヒノキを倒しました。その時の生徒たちの笑顔は最高でした。午後の木工クラフトでは柔軟な発想や要望に応えながら共に作品を仕上げ、時間は、あっという間に過ぎていきました。

最後は笑顔のハイタッチでお見送り。 来た時とは別人のようにキラキラとした目が印象深く、将来この日の経験が森への関心へとつながればと思います。私自身にとっても、学びの多い大変貴重な１日となりました。

«初の指導員。反省を次回の糧に»　青木千恵子(１班)

森林公園の林業体験棟に集合し、各自の担当班などの打合せ後、各自の担当現場の確認を行い、班ごとに道具の準備をしました。

昼食後は午前中に伐倒した木を玉切りし、それを土台に「箱庭」を自由に作ってもらいました。

私は初めての指導員で、鋸（のこぎり）の扱い方も上手く伝えられず、伐倒も時間ギリギリで子供達に楽しんでもらう余裕がなく反省していますが、今回の体験を次に活かしていきたいと思います。慌ただしい中、事故や怪我ヒヤリハットもなかった事は良かったです。午後のクラフトは玉切りには苦戦していましたが、発想豊かな唯一無二の作品が出来ていました。

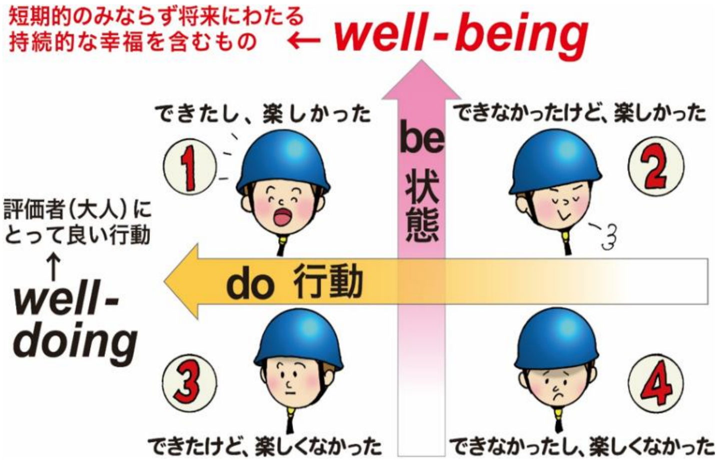
「箱庭」製作中

«前回の伐倒指導の体験を活かして»　山地秀司(5 班)

午前は恵木さんと私で 6 名の生徒に直径 15 ㎝のヒノキをノコを使って交代交代に切らせて、受け口、追口を作り、ロープで引き倒す作業を指導しました。ノコを使うのが初めてで、楽しいのか、我先に自分がやると一生懸命でしたが、いざやると、水平を保ちながら切るのが難しく、斜め切りはなかなか切れなくやけを起こす子もいましたが、何とか切込みが出来ました。前回、尾長天満宮の時にツルを伐りすぎて、伐る途中でメキメキと音がしてロープを引く前に倒れたので、今回は多めの 4 ㎝位残して、今子供たち 4 人に引かせてもまだ倒れないだろうと思いつつ引かせましたがメキメキと音がして倒れました。細くて高さがある木はツルを多めに残す必要があると改めて体得しました。

その後みんなで枝払いをし棚積みにして、幹は 1.2m を 3 本玉切りにして持ち帰りました。午後からは持ち帰った木をノコでスライスにしてその板の上に箱庭を作ったのですが、生木なので水分が多くボンドが乾かずもどかしくそうでしたが、作ることに集中して怪我もなく楽しんでいたので良かったと思います。

«目指せ！「well-being」»升本早苗(3 班)



担当班はやる気に満ち満ちて作業に取り組んでいた。しかし受け口が進まない。私は何とか子ども達の力だけで達成してほしい為、応援のみ。が、依然としてできない。そこへ見勢井顧問の助け舟。「現時点での斜め切りに合わせて水平切りの位置を上げて受口を完成させなさい。そのぶんロープで頑張れ。」との事。予定より小さい受けを完成させ、追いを入れて、全員でロープを一生懸命引いて思い通りの場所へ倒すことができた。「私は無力だったなあ」帰ってからも考えた。ちょうどその数日後、子どもの学びと遊びの支援について勉強する機会がありその時に出会った図解で視界が開けた。目指すは「well-being」。今この時よりもその先を思ってどう行動するか。難しいが前より楽しい気持ちで考えているところだ。

・・「はなのわマルシェ」報告・・・・・・

5 月 24、25 日の土日の両日、ひろしまゲートパークで、広島市主催の「はなのわマルシェ」があり、もりメイト倶楽部は、スタッフ 6 名が 24 日(土)に参加し、「間伐材を使ったワークショップ」を行いました。当日は、花と緑・ワークショップ・グルメ併せて 70 の出店があり、天気も良く来客が望めると思いましたが、小・中の運動会が重なり、14 時からサンフレッチェ広島×名古屋グランパスエイトの試合、体育館では夜から「ゆず」のアコースティックコンサートと行きかう人は多いのですが、思うよう来客に繋がりません。それでも 33 名の方々にワークショップにご参加いただき、参加者と楽しい時間を共有できました。　**記：岩田**

―7月―　活動の予定

各部会はどなたでも自由に参加できます。ぜひ、いろいろな活動をご体験ください

森の中での自然体験を通して学び、人を育てる！
《正式名：環境教育研究部会＝環研》

環研部会

オオマドホタル観察会を行います(詳細は P4 を参照ください)

■日時：7 月 19 日(日)16：00~21：00
場所：大竹市松ケ原
集合：キッズフィールド内母屋
■参加申込：：kids@morimate-ch.com

クラフト部会

間伐材を利用して木工クラフトを楽しもう！

行政や企業、学校から間伐材工作の依頼を受けています。題材のアイデア出しや部材づくりなどの準備を進めています。
～お手伝いいただける方を大募集！～

■7月 4 日(土) 19(日)：9 時～15 時
活動はいつもの山本町鹿ヶ谷基地にて。
■参加申込：岩田　080-5751-3798

里山部会

持続可能な里山の活用と整備、体験活動のフィールドを担う！

■7月 12 日（日）9：00～15：00
■場所：小川フィールド
■活動予定：環境整備・チェーンソー体験練習・
竹炭の洗浄、出荷準備。 間伐木選定（長伐期施業）
（妙國寺：椿剪定枝の棚積み・ブルーベリー狩り）
■持参品：山の道具・水筒・弁当・チェーンソー
■参加申込　佐藤：090-1682-6305　satoken069@yahoo.co.jp

【８月号】の会報発送作業は下記の通り実施します。
■日時：7月 29 日（水）18：00～　■場所：広島市まちづくり市民交流プラザ 3F
～どなたでも、都合のつく方はご参加ください。よろしくお願いいたします～

会　員　の　募　集

もりメイト倶楽部 Hiroshima は、「森の再生と自然保護を図る市民の森づくり活動」の先頭に立って森林保全の整備活動を展開しています。会員への技術研修や安全講習会などを開催する他、山で採れた木材を利用した木工クラフトの作成指導、青少年等に森林管理の重要性を伝えています。私たちの活動に共感、賛同して一緒に活動していただける方を募集しています。

会員の種類

【正会員】：倶楽部の実作業と組織運営に積極的に関わる、個人及び団体。
【賛助会員】：倶楽部の事業を応援するために入会した個人及び団体。

お申し込み方法

下記まで電話、又はメールで
【電話】090-6419-7531
【Email】info@morimate-ch.com